

La Movado

Fondita en 1951 N-ro 749 julio 2013

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ôsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO
Tohurô minami 2-8-7, Dazaihu-si, Hukuoka-ken, 818-0105

ESPERANTO-LIGO de TYÛGOKU kaj SIKOKU
Oogonzan-tyô 7-15, Minami-ku, Hirosima-si, 734-0041

ENHAVO

| | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 第 87 回九州エスペラント大会..... | 深堀義文 1-2 |
| 語尾なし単語の使い方 (7) | 相川節子 2 |
| 楽しい作文教室 (25) | 塚本猛 3 |
| Kajero libervola: "Udon" | OKAÛ Junpe 4 |
| 対訳:「初秋の浅間」(2) | 堀辰雄/沖恵明 5 |
| 第 61 回関西エスペラント大会速報 | 5 |
| エルサレムのアジア大会に参加 | 木元靖浩 6 |
| 宮本正男が残したもの | ドイヒロカズ 7 |
| 2012 年度 KLEG 活動報告 | 8 |
| 2013 年度 KLEG 活動方針 | 9 |
| 2013 年度の KLEG 役員 | 10 |
| Vortaro por lernantoj (130) | Laŭlum 10 |
| Salono: 西千寿子、峰芳隆 | 11 |
| KLEG 事務局だより | 11 |
| La Movado: 中国四国大会・関東大会ほか | 12-13 |
| 訃報: 西川悟さん | 13 |
| 追悼: 辰巳博さんとスキー合宿の思い出 .. | 國井兵太郎 14 |
| 追悼: 28 年間続いた数学パズル | 田熊健二 14 |
| Enigma | ŜIMATANI Takeŝi 15 |
| Mikspoto・作文教室成績・作文教室課題 .. | 15 |
| 編集ノート | 16 |

充実した講演、第 87 回九州エスペラント大会

深堀義文

今年の第 87 回九州エスペラント大会は 5 月 11 日(土)、12 日(日)に長崎市の浦上天主堂の直ぐ側にあるカトリックセンターの講堂で開催された。テーマは、「エスペラントで楽しむことを習慣としよう!」。実参加者 33 名、不在参加 11 名、欠席者 1 名だった。ドイツから Yoshie & Dieter Kleemann 夫妻の参加、韓国から Hela(Lee Suĝin) さんの招待参加があり、国際色のある大会であった。

11 日は午後 2 時からミニミニエスペラント講座があり、参加者は 3 名(5 名の予定が、2 名別の作業で不参加になった)。講師は深堀義文が担当し、参考小冊子は、橋口成幸編集の「橋渡しの言葉 エスペラント」を使用、別に A4 用紙 4 ページのプリントを用意した。これには、日本エスペラント協会のホームページから引用した、★エスペラントの目的 ★エスペラントの誕生 ★エスペラントの書籍 ★日本のエスペラント運動などの項目の一部を抜粋して紹介し、合わせて、何の役に立つか、知っているかどうか、世界のことでエスペラントにいちばん近いのは、エスペラントで感情の機微が表現できるか、世界共通語は英語ではだめなのか及び別のファイルから◆エスペラント文

法 16 カ条を日本語で書いたものを紹介した。深堀の舌足らずの説明を、同室で控えて居られた京都からの田平正子さん、鹿児島からのやましたとしひろさんの軽妙な言い回しで補足して頂き、講習の効果を挙げて頂いて有り難かった。なお、別室では九州エスペラント連盟役員会が行われた。午後 6 時から 29 名参加してのバンケードが、ご馳走を前に盛大に行われ、宴たけなわ過ぎて、田平正子さんによるオークションがあり、会合に花を添えて頂き、売上はアジアのエスペラント運動支援のため、KAEM (Komisiono de UEA pri Azia Esperanto-Movado) へ寄付した。

12 日の大会行事は 10 時から開催、La Espero



の斉唱で始まり、主催者歓迎挨拶、九州エスペラント連盟会長挨拶、来賓挨拶、各地方会挨拶のあと、講演 1:「エスペラントでの自転車旅行」荒井敏允さん、講演 2:「世界大会の思い出」秋吉任子さん。記念撮影の後、昼食。午後は 12 時 50 分より韓国からの Hela さんが Korea Esperanto-Junularo の紹介をされた。この後、講演 3:「エスペラントで文学しよう」広高正昭さん。講演 3 返は、日本語だったが、講演 4:「Kiel kreskigi interesitojn? (エスペラント・マスター・テクニク)」belmonto さん(やました としひろさん)は、インターネットを駆使した、非常に興味あるエスペラントでの講演で好評を博した。続いて、武藤たつこさんから「九州エスペラント連盟報告」があり、次回開催地を代表して熊本県の保村翠さんの挨拶があり、大会の緑星旗を長崎の深堀義文から引き継いだ。午後 3 時 10 分、La Tagiĝo を斉唱して散会した。

長崎エスペラント会としては、中尾憲さんが堂々の大会司会役を務められ、初心者の原川烈子さんが地方会挨拶を上手に務められたのが、心に残る思い出になった。

長崎エスペラント会の口座への振込通知は深堀の所へ届く。深堀は、振込通知は払込取扱票で届くとばかり思っていて、ATM による振込には、全く気付かず、まだあの方は届いてないと言い続けて、会計係を困らせてしまった。今までは払込取扱票だけ届いていたので、今回の大会で初めての経験でした。長崎エスペラント会から地方会挨拶に立った原川烈子さん、11 日の大会準備の会場で、参加者の土居智江子さんから、発音、イントネーションなど指導して頂いて自信が持てた、と聞いたときには思わず心でニッコリした。大会前日の 10 日に、お土産品の Verda Haveno No.21 Memore de la 87-a Kongreso de Esperantistoj en Kjuŝu en Nagasako の印刷物が届くなど、きわどい準備作業が続き、その編集や、大会を盛り上げた数々の電子機器などの準備、その取扱いを担当した盛脇保昌さんの作業が大変だった。一番神経をすり減らしたのは、初めて会計係を務めた西宣子さんだったと思う。とにかく、みんな、12 日に大会が無事成功裡に済んだときには、ひとまず肩の荷が下りた感じだった。深堀は現在 87 歳であるので、今回の第 87 回九州大会は殊の外、意義深い大会だった。

初心者のための

語尾なし単語の使い方 (7)

相川節子

本来副詞 (12) eĉ

「～でも」「～さえ」「～すら」と訳されることが多いのですが、日本語に訳すのがむずかしい用例もあります。「他は当然だが、○○さえも」と言いたい時に使われます。

Tion komprenas eĉ infano.

(そのことは子どもでもわかる)

大人にわかるのは当然、子どもでさえわかる、そのぐらい自明のことだよという意図のせりふです。

Eĉ unu monero ne restis en la poŝo.

(ポケットにはコインの 1 枚も残っていなかった)

紙幣がないのは元々わかっているが、小銭さえ残っていない、という細かい状態というわけです。

“Ĉu vi jam legis la leteron?” “Ne, mi eĉ ne malfermis ĝin.”

(「あの手紙をもう読んだ?」「いや、開封すらしていないよ」)

読んでいないどころか開封もしていない、という状況での会話です。

Provu ĉion, eĉ ĉeestu al la Internacia Kongresa Universitato.

(何でもやってみなさい。国際大会大学にも出席しなさい)

La Unua Kursolibro の第 32 課、世界大会に出かけるエリにケイコ先生が言うせりふです。この eĉ は日本語に直訳できません。大会大学では専門的な講義が行われるので、初心者のエリには難しいと思われるのですが、「それでも参加してごらん」という意味で eĉ が使われています。

接続詞 se といっしょに使われることもあります。

Eĉ se pluvos, la ekskurso okazos.

(雨が降っても、遠足はあります)

〔訂正とおわび〕 3 月号の例文で「表意文字 (ideogramo)」ということばを使いましたが、形声文字の存在などから、漢字は表意文字ではなく表語文字とされています。また、5 月号の例文 Kie okazos la ĉi-jara kongreso? で la が抜けていました。ご指摘くださったお二方、ありがとうございました。



①朝方の風は木の葉を吹き散らした。

【訳例1】Vento en mateno disblovis foliojn.
(ヒー坊, ikona, M.H., Eiko, Ivajo, Yo)

【訳例2】La vento en mateno disblovis foliojn.
(Drako, 西, Festo)

【訳例3】En la mateno vento disblovis multe da folioj. (Fumi)

朝方の：en (frua) mateno.

「朝」は mateno ですが、その時間帯は日の出から正午までとかなり広いようです。「朝方」はもっと狭くて「朝のあいだ、早朝」の意味があります。朝のうちで日の出近くの時間帯です。そのように考えれば、en frua mateno とする方がはっきりします。「夕方」は vespero ですが、日暮れから夜の始めまでと狭くなっています。

「吹き散らす」は disblovi で良いでしょう。disfaligi (崩壊させる) は、ばらばらにして落とすという少し違う意味になります。dispersi (分散させる) は白光を色光に分ける場合です。なお blovi (吹く) と brovo (まゆ毛) を間違えないようにしましょう。

②通りには落ち葉が舞っている。

【訳例1】La falintaj folioj flirtas sur la strato.
(Drako)

【訳例2】Sur strato dancas falintaj folioj. (Ivajo)

【訳例3】Sur strato velkaj folioj flirtis. (Festo)

ひらひらする：flirti.

「通り」はほとんどが strato でした。これは建物のある vojo (道) の意味です。日本語の「通り」も「街路」の意味があります。単に vojo とした場合は、近くに建物があるかどうか分かりません。

「落ち葉」falintaj folioj は、今の季節には合っていないかも知れませんね。訳例3のように、枯れた木の葉が舞っているほうが絵になる、と考えた人が3割くらいでした。でも落ちた木の葉は、「枯れ葉」mortintaj, velkintaj folioj とは限りません。前の課題の続きと考えれば、faligitaj folioj かも知れません。fali (落ちる)、velki (枯れる) は自動詞なので、そのまま受け身形にしないように。

「舞っている」ですが、ヒントに flirti (ひらひら

する、はためく)を出したので戸惑った人もいたでしょう。訳例2では danci (踊る) を使っています。木の葉が、飛び跳ねるような動きをしているということで、この場合 mortintaj folioj は使いにくいですね。

③彼はその通りの角で立ち止まった。

【訳例1】Li haltis ĉe la angulo de la strato. (ヒー坊, 西, 水渡, M.H., Eiko, alfa, Lv-rivero)

【訳例2】Li haltis ĉe angulo de la strato. (田原, Ikona, Ivajo, Yo)

【訳例3】Li ĉesis sian paŝon ĉe angulo de la strato. [解説参照] (Fumi)

角：angulo.

「立ち止まる」は、歩みを止めるという意味です。訳例のように halti (停止する) で良いと思います。訳例3は ĉesi (やめる) を使っています。この単語は自動詞ですが、人が主語の場合、動詞不定形を目的語に取ることができます。しかし、訳例のように名詞を目的語に取るとはできません。ĉesi は何かの動作を中断する場合に使うので、この場合も ĉesis paŝi のようにすれば良いと思います。

④彼は木の葉の間に何か光るものを見つけた。

【訳例1】Li trovis ion brilantan inter la folioj.
(ikona, Eiko, Ivajo)

【訳例2】Li trovis ion lumantan inter la folioj.

【訳例3】Li trovis ion brilantan inter folioj de arbo. (M.H.)

光る：lumi (光っている), brili (輝く)。

「～の間」は inter で良いでしょう。en la foliaro でも良いと思いますが、dum は使えません。前置詞の dum (～の間) は、対象の時間的な継続範囲を示します。dum la parolado (演説の間中) のように使います。inter は時間、空間、関係などの、複数の対象について、「～の間」を表現します。

この課題での「何か」は、答えを期待して問いかけているわけではありません。不定の意味の「何かある光るもの」です。ですから、kio ではなく io を使います。「光る」ですが、lumi は光を発している場合に使い、brili は、光を発するか、あるいは宝石のように光を反射して明るく光っている場合に使います。関連した単語として brilanto (ブリリアントカット) はダイヤモンド、鉱物の berilo (緑柱石) には, smeraldo (エメラルド)、akvamarino (アクアマリン) などがあります。

成績と9月号の課題は P.15

“Udon”

OKAŬ Ĵunpe (Telesa)

うどんは、小麦粉と水と塩でつくる芸術作品である。

Udon estas artverko el tritika faruno kaj akvo kaj salo. Troviĝas diversaj specoj de *udon*, kaj iuj el ili estas nudeloj sen salo, sed *udon*, kiun mi plej ŝatas, estas nudeloj kun salo en la gubernio *Kagaŭa*, *Sanuki-udon*.

Salo estas uzata por fortigi la elastecon de gluteno, proteinoj de tritika faruno. Sed mi opinias, ke *udon* fariĝas ne tre bongustaj, se oni uzas farunon, kiu enhavas multe da proteinoj. Ankaŭ *udon* fariĝas ne bongusta, se oni aldonas tro multe da salo. Laŭ la tradicia metodo proksimume saturita salakvo estas aldonata al faruno. La kvanto de la akvo en la pasto estas malmulte, kaj la pasto estas tiel malmola, ke necesas, ke oni paŝas sur ĝi kun sia pezo por knedado. En brogado la kvanto de la salo en la nudeloj malmultiĝas je ĉirkaŭ 90%, kaj la nudeloj komencas enhavi akvon rapide. El tio rezultas, ke la nudeloj havas surfacon bele duontravideblan, sed havas iom da malmoleco, kaj dancas en la buŝo, kaj estas bongustaj eĉ sen supo.

Plaĉas al mi *udon*-nudeloj, kiuj estas lavitaj en malvarma akvo post brogado. La surfaco de *udon*-nudeloj fariĝas iomete malmola en lavado en malvarma akvo, kaj estas agrabla en la mano, kiam oni lavas, kaj agrablas ankaŭ en la buŝo, kiam oni manĝas. La bongusto de faruno estas sentata en la buŝo, kiam oni dentare mordas la iomete malmolan surfacon de la elastaj nudeloj. Oni DEVAS komenci manĝi post malpli ol kvin minutoj post brogado, oni pensas, kiam oni ĝuas bonguston de nudeloj.

Mi lastatempe vojaĝis al *Kagaŭa*, kaj manĝis *udon* en kelkaj restoracioj, inkluzive de famaj 2013.7

restoracioj, sed ne havis tiel grandan impreson, kiel en la vizito al *Kagaŭa* antaŭ kelkaj jaroj. La kialo probable estas tio, ke mi manĝis la nudelojn ne tuj post brogado, ne kiel mi kuiras mem hejme. Sed hejme eblas, ke oni manĝas tuj post brogado, kaj ke oni komencas prepari paston pensante kiel longe atendi por maturigi la paston (inter duona horo kaj unu horo por ke la pasto estu taŭge glata kaj mola), kaj kiam manĝi.

Oni manĝas *udon* kun sojsaŭco aŭ kun miksaĵo de sojsaŭco kaj buljono, kaj eventuale ankaŭ kun tranĉitaj tubocepjoj kaj kun fritajoj, sed *udon* principe estas malmultekosta.

Tio, ke oni tiel kreas bonegajn aĵojn el simplaj ordinaraj ingrediencoj, estas arto.

Kial tekniko ravas onin? Ĉar tekniko beligas homojn malbelajn en ĉi tiu fimondo. Tiu, kiu havas teknikon, estas bela. Tiu, kiu estas ravata de arto, samtempe estas ravata de la kreanto de la artverko, kiu montras eblecon de beleco de homo. Arto ne solvas problemojn. *Udon* ne solvas ekzemple internaciajn problemojn. Solvojn oni devas trovi mem. Sed arto vigligas onin en vivado en la problema mondo.

Tio ĉi estas la lasta fojo, ke mi skribas artikolon ĉi tie. Koran dankon al vi pro la legado.



Gimnastiko por cerbo 200円 (7月未まで)
数学パズル 50 題。解答と日本語の解説付き。
モバード新書
急逝された Enigmo 欄担当の辰巳博さんを悼み、
その著書を期間限定の特別価格で販売します。

初秋の浅間

(2)

堀 辰雄

そんな浅間山に憑かれたようになって、放心したようにふらふらと山へ入って行って死んだ人もあるという。——そういう話を、私は数年前はじめて追分へ来て長い滞在をした秋に、宿の主人から聞いた。丁度その前年の、同じ九月半ばのこと、——一週間ほど前から、関西の方からふらりと来た一人の滞在者があった。快活そうな男で、浅間山をはじめて見に来て、どうもこうも仕様のないくらい好きになって、毎日ほれぼれと山ばかり見て暮らしていたようだったが、とうとう或朝、一人で山へ登ってくると云い出した。主人に一人じゃとても行けませんからと云って止められたので、それは思い止まったらしかった。その代り、途中の血の池まで行ってくると云って、それまでの道筋を主人に聞いて、写真機だけ手にして出ていったが、それがさあ夕方になっても、夜になっても帰って来ない。宿では騒ぎ出し、翌日から村では捜索隊を出して捜したがとうとう見つからずにしまった。——その男らしい死骸の見つかったのは一月位たってからで、佛岩の崖に落ちていたという。写真機も一しょにあった。その写真をそのあとで現像してみると、まだ使っていない二三枚を除いては、みんな浅間の写真で、最後に撮ったやつには、初秋の、白い、さわやかな雲だけが映っていたという……

* * *

(続く)

trovita, jam pasis unu monato de tiam. Oni diris, ke li falis al la krutaĵo de la roko *Hotokeiwa*. Ankaŭ troviĝis la fotilo apud li. Oni rivelis la filmon kaj trovis, ke ĉiuj fotoj montris la monton Asama escepte de neuzita parto de la filmo, kaj la lasta estis nur blanka kaj freŝa nubo en frua aŭtuno, mi aŭdis ……

* * *

(daŭrigota)

La Monto Asama en frua aŭtuno

(2)

de HORI Tatuo

tradukis: OKI Keimei

Oni diras ke troviĝis iu, kiu estis obsedita de la monto *Asama*, kvazaŭ senanime kaj ŝanceliĝante eniris en la monton kaj mortis. — Tiun rakonton mi aŭdis de la mastro de mia gastejo, kiam mi unuafoje vizitis *Oiwake* antaŭ kelkaj jaroj en aŭtuno kaj longe loĝis tie. Ĝuste la antaŭan jaron en la mezo de sama septembro, — unu loĝanto de la gastejo, sen antaŭsciigo pri sia tranoktado al la tranoktejo, venis el la regiono *Kansai* ĉirkaŭ unu semajnon antaŭ sia tranoktado. Li unuafoje venis por rigardi la monton *Asama*. Li estis viglamiena viro, ne povis rezisti kontraŭ la amsento al la monto kaj ŝajne pasigis ĉiun tagon ĉiam rigardante la monton kun revo. Sed fine, iun matenon li diris, ke li supreniros sur la monton. La mastro admonis lin ke unu homo sola neniel kapablas supreniri, kaj li ŝajnis rezigni tion. Anstataŭe li diris, ke li iros ĝis la lageto *Tinoike*, situanta duonvoje al la montopinto, kaj li demandis la mastron pri la vojo al la loko. Li nur kun fotilo eliris la gastejon, sed ne revenis, kiam eĉ vesperiĝis, kaj eĉ noktiĝis. La gastejanoj ekbruis. Ekde la sekvanta tago la vilaĝo sendis serĉteamon al la monto, sed post ĉio oni ne povis trovi lin. — Kiam la kadavro, kiu povis esti tiu viro, estis

第 61 回関西エスペラント大会速報

第 61 回関西エスペラント大会は 5 月 25 日・26 日に和歌山市民会館で開かれ、不在参加を含めて 200 人が参加。公開番組には、受付で記名した人だけでも 27 人の一般市民が来場した。詳しい報告は次号に掲載予定。

なお、第 62 回大会は 2014 年 5 月 31 日・6 月 1 日に姫路市で開催される。

エルサレムのアジア大会に参加

木元 靖浩 (奈良県)

マタイ受難曲 *Pasiono*。ゴルゴダの丘。これらの舞台の聖地にして歴史都市エルサレムをエスペラントのおかげで訪れることができた。4月18日～22日に開催された第7回アジアエスペラント大会に参加したからである。会場兼宿舎は、やや郊外の国会議事堂など官庁街やヘブライ大学西エルサレムキャンパスに近い *Junulara gastejo Rabin (Yitzhak Rabin Youth Hostel & Guest House)*。大会の名称は「アジア大会」でもヨーロッパからの参加者が多かった。26か国、約160人参加とのことだが、インドネシアからの参加者はビザが取得できず来られなかったため会場には25か国の人がいたことになる。ちなみに日本からの参加者は *Kongreslibro* によればイスラエルの62名に次ぐ20名であった。私は5人部屋を申込み、中国人2人、韓国人1人、ポーランド人1人と同室となった。その韓国人はまだ学生で、*KLEG* の林間学校に講師として来てもらったことのあるネマさんの息子とのこと。最後の夜の *Internacia Vespero* でたった1人の韓国からの参加者としてギターを弾きつつ韓国の歌を歌った。喝采を浴び、問われて3日前からエスペラントを始めたことと答えていた。ここに来てからだ。

大会は分科会等で分散せず全体で動き、毎日遠足と講演などのプログラムに参加する形式であった。私は期間中1日は単独でエルサレムの町を歩いてみようと思っていた。実行日は最終日の、近くの国会議事堂やイスラエル博物館などを歩いて見に行く日。その代わり別の日に国会議事堂(クネセト)などを見ておこうと、朝食前にまだ暗いうちから出かけた。国会議事堂に接近する道には兵士が詰める小屋があった。しかし、ここで引き返せば私が悪者になってしまう。進むと先方は出てきて、一人か。何しに来た。などと英語で聞く。エスペラントの大会に来た。思い出に写真が撮りたい等と言っていると、胸の名札に気が付いて日本から来たのかと驚いて、見て行けと通過を許された。

講演のうちの一つに "Moderna arto en Israelo — la pentristo Johonatan Kislev" があった。若いエスペランチスト画家だ。ようこそ大勢の皆さまイスラエルに来てくれました。家族や友人に、あんな危険なところに行くのかと心配されただろうに。といった話から始まった。エルサレム旧市街を描いた

絵ハガキをもらい、どのようにその構想を練ったかを聞かせてくれた。彼のHPは <http://www.kislev.com/> で *kis-lev* で検索できる。そのありえない、死海まで入ったエルサレムの絵もこのHPで見ることができる。最後に何か質問はないかと言われ、あなたの絵はいくらで売れるのかなど遠慮のない質問もあった。にこやかにどのような質問にでも答えてくれた。絵画は構想に半年ぐらいかけて描き、スイスの画商を通じて売っているのだそうだ。

さて、3日目はエルサレム旧市街の遠足だ。観光スポットの中心だ。城壁の外でバスを降り「糞門」から入る。観光客で一杯だ。アムリ・ワンデル以外に女性のガイドが2人付いた。一人は英語。一人はヘブライ語。エスペラントはアムリ。誰について歩くか決めたらはぐれないようにしろ。道に迷ったら戻れないぞ。とのこと。岩のドーム(ドームは本物の金で覆われている)の前で大勢で緑星旗を広げ、記念写真を撮ろうとしていると人がやって来て旗を降ろさせた。ここではいかなる宗教の旗も、いかなる国旗も、大きな旗も上げてはいけなそう。デリケートな地域なんだそうだ。

最終日22日は計画通り3人連れで街に出た。会場のユースホステルでもらった簡単な地図を頼りになんとか中心部まで行き、適当に喫茶店に入りコーヒーとケーキを楽しみ、閉会式に間に合うようにタクシーで帰った。運転手はアラブ系だ。というより、アシュケナジーユダヤ人に対するスファラディーユダヤ人。日本から来たという、俺は日本人が好きだと言い、運転しながら 아이폰 に入った息子や奥さんの写真を見せてくれた。

なお、*KAEM (Komisiono pri Azia Esperanto-Movado)* の *publika kunveno* もあり、ここで委員長が佐々木照央(てるひろ)氏から中国の *Wang Ruixiang* 氏に変わった旨の報告と挨拶があった。また、第8回アジアエスペラント大会は2016年に中国で開催されるが、開催地は未定とのこと。

同室のポーランド人と日本人数人と話し合ったが、面白いなと思った話。「書いたものには大勢のユダヤ人がポーランドのアウシュビッツで殺された」とある。誰が殺したかを書いていない。今はまだいいが、これから歴史を知らない者が増えてきたらこれを読んで何と思うだろうか。」ポーランド人に殺されたと思うものが出てこないかと心配しているのだ。この度のアジア大会はイスラエルを体験でき、いろんな話を聞いた楽しい大会であった。

追悼記に書き残したこと

ドイ ヒロカズ (神奈川県)

はじめに

「宮本正男の残したもの」を書くだけの力がわたしにはないことを痛感している。とりわけ、1967年に関西を離れたままで、その後お会いしたのも数回、関西大会に顔を出す程度。この空白期間が宮本さんとの距離を完全に遠いものとしている。せいぜいわたしに書けることは、宮本さんが亡くなった1989年に追悼文として書いた以上のものはない。今回依頼を受けて、この時に書き残したことを記録の意味から補充的に書く。

やめる方を間違っているよ。

宮本さんとの出会いがなかったら、わたしはかなりまじめな、しかし小市民的なサラリーマンで終わっていたかもしれない。1976年ロッキード事件が公になり、事件の渦中の企業に勤務していた友人が、事件の関連で忙しくなるので「しばらくエスペラントから遠ざかる」との話に、宮本さんは「やめる方を間違っている」と評した。わたしは企業に就職して10年未満であったが、同じ状況があったとしたらとても社をやめてエスペラントをとることなど考えられなかった。しかし物事の本質から行動を決めるべきだという原理は、その後自分が生きていく指針となった。このためずいぶん損をしたこともあったが悔いは少なく、気持ちの負担をいだきながら生活をおくる必要もなかったことは大変ありがたいことだ。

人を使い、育てる

1963年12月に清水宜子と塩田智江子(当時いづれも奈良女子大生)が東京のザメンホフ祭に参加、出来上がったばかりの改定新選エス和辞典を持ち帰るだけ持ち帰ることになった。宮本さんは、夜行列車で大阪駅につく二人を迎えるように、と坪田幸紀さん(京大生)とわたしに依頼した。ふたりとも京都に下宿していたので、朝が早いのは大変だろうと、KLEG事務所(中津)の2階に泊めてくれた。早朝大阪駅のプラットフォームで二人を出迎え、新刊をKLEGまで運んだ。初めて手にした辞典は、旧版よりも一回り大きく、1語1義であったのとは異なり、日本語の訳語が増え、言語能力の低いわたし

にはとてもありがたく見えた。

この辞典が発行されたことを伝える La Movado 誌の最初の記事は、1964年1月号で、「原稿募集新エス和の批評を！」と題した無署名の11行の小さな記事である。編集部では、新しい辞典を使ってみての、苦情、批判、批評、感想を募集、「出た、出た」と騒ぐのではなく、皆の意見を聞くという姿勢。この記事は、宮本さんの姿勢そのものと思えてならない。翌年2月号にやっと、上山政夫、奥村林蔵両氏が、この辞典について思うこと、として、それぞれ「詩的表現の日本語の記載を！」「付録はあった方が都合が良い」と題する半ページずつの記事、そして、1/4ページほどの「祝賀会報告」が載る。その後それぞれ1ページを超える記事が数号続く。いずれも提灯記事ではない。批判精神旺盛な内容であり、宮本さんが育てたに違いない姿勢が各号に生きている。この面で、最近の本誌には少々物足りなさを感じることもあるが、宮本さんの不在を原因とは考えたくない。

この辞典のエスペラントによる見出し項目と日本語訳語をひっくり返す作業から、現在の「日本語エスペラント辞典」の編集が発売した。例えば、libroには「本、帳簿、巻、編」の訳語がある。この訳語を元にカードを作ると4枚できる。白紙の名刺用紙に1枚1枚書き移す作業は当時のKLES(関西学生エスペランティスト連盟)の会員の協力による。最終的には、塩田智江子が全部のカードを50音順に並び替え、宮本さんに渡した。その後宮本さんは現在のKLEG事務所玄関協の部屋で日本語エスペラント辞典の編纂に没頭しておられた。大阪への出張の折に事務所に顔を出すと、棚に並んだカードをうれしそうに示された。

宮本さんの組織力は、その人間性によるところだろう。人を使い、人を成長させる名人だった。この分野はこの人に、と決めると、その人を信頼して、その人に任せた。宮本さんに育てられたエスペランティストは各地に散在している。この記事を書くにあたり、追悼号などを読みなおしながら改めてこのことが確認できた。その人を信じきる(ように相手が思ってしまう)能力があった。わたしのような者も、エー気持ちにさせられた。今日まで、エスペラントの現場から離れずにやってこられたのも宮本さんの影響が強いと感じている。

2012 年度 KLEG 活動報告

関西エスペラント連盟

2012 年は、エスペラント発表 125 周年であり、関西大会も 60 回を迎える節目の年であった。世界大会がアジアで行われたので、旅行団を送った。委員会が「Vikipedio にわが町の紹介を」が提案され、新たな取り組みが始まった。

1. 各種行事

第 60 回関西エスペラント大会は、6 月 23 日と 24 日、クレオ大阪東（大阪市城東区）で開催され、参加者は不在参加 79 人を含め 223 人であった。今回も関東大会と共同でネパールからバラート・クマル・ギミレ (Bharat Kumar Ghimire) さんを招待した。第 60 回の記念大会として「歌詞コンクール」、「人形劇団クラルテによるエスペラント人形劇」、「第 1 回から第 59 回までの大会の Kongreslibro、Raporto、La Movado の大会報告記事の展示」を企画した。公開講演では、バラートさんが「Naturakaj Kulturo en Nepalo」と題して染川隆俊さんの通訳で講演し、野田淳子さんのミニコンサートのあと、大阪市立科学館館長加藤賢一さんの講演「宇宙膨張の発見とその後」が行なわれた。来館者がだれでも入れるオープンスペースに忍岡妙子さんが世界 65 カ国から集めた「国際女性デーのメッセージ」を展示した。

第 44 回エスペラント林間学校は、9 月 15 日から 17 日、豊中市の善き牧者愛徳の聖母修道会修道院で開催された。参加者は、講師・世話役・分科会だけの参加者を含めて 39 人。初級クラスに外国人講師をとということで、昨年同様、韓国から招待したシン・ウンスク (Shin Eun-suk、通称 Songanta) さんを充て、佐藤守男さんも講師に加わった。中級会話の講師は沖恵明さん、中級はタニヒロユキさん、上級は川西徹郎さん（金沢）によるエスペラントで討論であった。「校正の仕方 ABC」、「太極拳」などユニークな分科会もあった。

第 97 回世界大会はエスペラント 125 周年を記念した大会で、7 月 28 日から 8 月 4 日の 8 日間ベトナムのハノイで開催された。参加者は 62 カ国から 866 人、日本からは 168 人で最多人数であった。KLEG は、アジアで行われる世界大会であったので、旅行団（16 人）を出して参加した。開会式にはべ

トナムの副国家主席やハノイ人民委員会副委員長が来賓として挨拶した。ハノイの街のいたるところに国家の支援で横断幕や 1000 本もの垂れ幕が掲げられ、国を挙げての行事であったことが印象づけられた。大会の運営に大勢のベトナムの若者が活躍した。大会後、旅行団はアンコールワット遺跡群を見学して帰国した。

2. アジアとの連携

中国山東省の棗庄大学に付設された国際エスペラント博物館に 142 冊の図書を寄贈した。また、インドネシアへの支援の一環として、45 冊の図書を寄贈した。

3. 青年への支援

2013 年 4 月開催の第 1 回インドネシアエスペラント大会に参加する、チェ・ユナさん（大阪）、市川晋平さん（京都）に青年奨学金を支給した。

4. 加盟ロンド（地方会）の活動

入門講習会は 11 ロンドが 1 日講習などさまざまな形で 13 回開催（受講者 20 人）し、エスペラントを広報する各種の展示会は、10 ロンドがそれぞれに地元の市民文化祭などに参加してのべ 12 回開催した。ザメンホフ祭は単独または近隣ロンドによる共同開催で、6 か所、のべ 102 人が参加した。**池田**：関西エスペラント大会・ザメンホフ祭でエスペラントの狂言を上演。エスペラント俳句を詠む句会を年 4 回春夏秋冬の季語で開いている。

宇治城陽：1980 年に発行した宇治の観光案内書の新版を作成するため、10 月に取材遠足を実施。その後手分けして原稿を書いている。

近江：大津で京都、宇治城陽との合同ザメンホフ祭開催。モンゴルの Azaa 氏が講演した。機関紙年 5 回発行。

大阪：第 60 回関西大会を開催した。60 回を記念して、歌詞コンクール、人形劇団によるエスペラント人形劇などのユニークな企画が盛り込まれた。

京都：4 月～6 月に全 10 回の初級講習会を開催し、4 名参加。9 月に 1 週間の展示会を開催。JEI の学力試験を京都で実施するのに協力。会誌を 1 号発行。

神戸：「Vikipedio にわが町の紹介を」に全会員が取り組んだ。すでに Vikipedio に掲載しているが、さらに改良を加えて内容を充実させる。

堺：「地域に根ざした活動をしよう！」をテーマに、外例会 1 回実施。堺市民フェスティバル参加。展

示と人形劇で、エスペラント広報を行った。

吹田：「エスペラントふれあい講演会“土よ よみがえれ”」として市民文化祭に参加。韓国版脱サラ農業者の暮らしもエスペラントで紹介。他にエスペラントと手話のコース。

高槻：2012年も中国常州市東方小学校から高槻市五百住小学校卒業式に祝辞が届いた。1988年から両校の交流を高槻・常州両エス会が支援。

豊中：関西大会で「木星（ホルスト曲）」に付ける創作エスペラント歌詞コンクール支援に尽力。入選作を例会、合宿、ERAJなどを通して普及に努めた。

奈良：奈良公園で4月に開催された「アースデイ奈良」に参加。ブースでエスペラント展とエスペラント体験会のチラシを配布した。

はりま：姫路と加古川で学習会継続。姫路市の秋と春の国際交流行事に参加し、展示とミニ講座。2014年の第62回関西大会招致を決定。

枚方：会員の漫画を翻訳し出版した。新年会・納涼会や、3 Rond 共同ザメンホフ祭を実施した。国際スカイプ例会を続行するなど充実した年だった。

和歌山：人権フェスティバルに展示で参加。第61回関西大会に向けて準備を進めている。

5. 各部局の活動

組織部：活動年鑑“Jarlibro de KLEG2012”を発行した。運動記事の収集で編集部に協力した。本年度より、林間学校は教育部所管、関西大会は組織部所管となり、はりまエスペラント会と共催の第62回大会に協力する。また大会のこれまでの経験をマニュアル化し、『関西大会開催手順書』を作成した。

国際部：世界大会に旅行団を派遣した。中国山東省の国際エスペラント博物館に本を寄贈した。インドネシアへの支援の一環として、図書を寄贈した。関西旅行メーリングリストを教育部と協力して運用し、来日外国人との交流を促進した。

図書部：関西大会記念品としてタニヒロユキ著『簡明エスペラント辞典』刊行。広高正昭著『エスペラント俳句の作り方』を刊行した。世界大会において上記2冊を紹介した。『図書目録2013』を発行。長期にわたる在庫品は本年度も期間限定値下げなどによる販売促進を行った。メールによる新刊案内の“Novaj Libroj”を適宜発信し、La Movado誌に毎月図書広告を掲載した。

編集部：1月号から編集部でLa Movadoの完全版下の制作を開始した。学習記事「初級者・中級者のひろば」の終了後、「語尾なし単語の使い方」の連載を始めた。Kajero libervolaは現在、若い人の活躍の場となっている。ネパール、中国、ベトナム、韓国から執筆してもらい、活動方針の「アジアのエスペランティストとの交流」に寄与した。

教育部：第44回林間学校を開催した。「Wikipediaにわが町の紹介を」の取り組みは一部のRondに留まっている。連盟事務所をKER試験の会場に提供した。JEIの講師養成講座に協賛した。

事務局：当直者・局員の継続した努力によって、連盟とモバード社の日常業務を遂行した。各種行事での図書販売や棚卸し、機関誌発行では会員有志の協力を得た。パソコンによる図書入庫管理システムの運用を開始した。ホームページの維持更新には、山野敏夫さんの、また、ツイッターには峰芳隆さんの支援を引き続き得た。プリンタ複合機を更新した。

6. KLEG賞・KLEG奨学金

2012年度のKLEG賞は、神戸エスペラント会の機関誌の編集を30年以上続け、最近の15年は会長として会の活発な活動を指導してきた功績により、木村英二さんに贈られる。

KLEG奨学金は、KLEGが100周年記念に手がけた『日本エスペラント運動人名事典』を、執筆者の柴田巖さんの死去の前に、全面的に引き継ぎ、約2900人収載の膨大な事典を増補完成させ、一般の出版社から2013年秋に市販することに貢献した後藤斉さんに贈られる。

7. 組織状況

加盟団体は引き続き次の17 Rond。芦屋、茨木、池田、宇治城陽、近江、大阪、京都、神戸、堺、吹田、高槻、豊中、長浜、奈良、枚方、はりま、和歌山（緑丘会）。2013年3月末現在の団体会員は276人（前年287人）、個人会員は61人（同71人）。団体会員、個人会員とも減少が目立つ。

2013年度 KLEG 活動方針

1. Rond活動を工夫して活性化し、会員の増加を
従来実施してきた講習会や展示などの活動に加え、Rondの紹介、Rondの所在する都市の紹介をWikipediaに掲載する活動に取り組み、活動の活性化と会員増加につなげよう。

2. 教育の推進と会員の能力向上

合宿など学習の場を提供するほか、視聴覚教材を活用して楽しく学び、能力の向上に結び付けよう。

3. アジアのエスペ란チストとの交流

2013年には第1回インドネシア大会が開催され、イスラエルでアジア大会が開催される。また、関西大会に中国・韓国からエスペ란チストを招待する。これらの機会も有効に活用し、アジアのエスペ란チストとの交流を積極的に進めよう。

4. 青年エスペ란チストに対する支援

青年奨学金や会費の半額割引など、青年に対する支援を行っている。青年会員獲得のために大いに利用しよう。

5. 具体的事業計画

(1) 第61回関西エスペ란ト大会 (2) 第45回エスペ란ト林間学校 (3) 活動年鑑 Jarlibro 発行 (4) 出版：“Kuru, Melos!” 太宰治集（小西岳訳『走れメロス』）。企画として“50 fabloj de Ezopo” および“Paroladoj de D-ro L. L. Zamenhof”の再版。『日本エスペ란ト運動人名事典』の刊行・販売を支援。図書目録2013。(5) La Movado の定期(月刊)発行。宮本正男生誕100周年に因んだ連載(6)第100回、第101回日本大会の開催に協力する。(7) 加盟ロンドにおいて適宜、例会、講習会、ザメンホフ祭、機関誌発行を行なう。

2013年度のKLEG役員（敬称略）

名誉会長：小西岳

顧問：赤田義久、大塚穎三、川野邦造、岸田準二、北さと、竹花人、藤本達生、前川治哉、松原八郎、峰芳隆（新）

会長：田熊健二。副会長：相川節子。専務理事：中道民広。理事：磯貝尚武、染川隆俊、木元靖浩

事務局長：中道民広

組織部長：木元靖浩

教育部長：沖 恵明（新）

国際部長：磯貝尚武

図書部長：染川隆俊

編集部長：小西岳

監事：加藤木みずえ、山本徹



regi: 1 Plene estri super aliaj, igi alian agi laŭ sia volo, havi komandan povon super aliaj: *regi* super popolo; *regi* entreprenon. 2 Obeigi, direkti laŭ sia volo: *regi* ĉevalon, situacion. 3 Iom daŭre kaj vaste estadi, ĉesigante aliajn sentojn, fenomenojn ks: *regis* terura bruo.

Kiu lingvon regas,

Tiu bone legas.

Kiu multe legas,

Tiu do kleregas.

regulo: Io difinita por gvidi agadon.

Regule nia rond' kunvenas,

Ekzercojn lingvajn entreprenas.

Per la regula ekzercado,

Ni progresas, ĝojoplenas.

reĝo: 1 Regnestro kun krono. 2 La plej grava aŭ forta ulo en sia speco.

Sur altaj montoj estas krestoj.

La tigro estas reĝ' de l' bestoj.

Por brava homo, glora nomo;

Por reĝo, specialaj vestoj.

rekta: 1 Konservanta ĉiam unu saman direkton; simila al streĉita ŝnuro: *rekta* vojo. 2 Kuranta sen interrompo: *rekta* vagonaro. 3 Senpera, funkcia sen interveno de perilo: *rektaj* rilatoj, *rekta* imposto.

La aŭtovojo du-direkta,

Estas larĝega, tute rekta.

Ĝi taŭgas por veturi nokte,

Kun ekipaĵo sendifekta.

renkonti: 1 Veni al iu vizaĝo-kontraŭ-vizaĝe.

2 Trovi antaŭ si en vivo, legado, socio ks.

Se renkontos vi problemon,

Nepre havu malcedemon.

Per penado kaj persisto

Solve ĝin, ne faru ĝemon.



エスペラントの町訪問記

西千寿子 (京都府)

ドイツ中部に、箒に乗った魔女
伝説で知られたハルツ山がありま
す。

その麓にある Herzberg am
Harz という町に、縁あってこの 4
月中旬に旅しました。そこは 2006 年に「Esperanto-
urbo」と名乗ることを町が公認しています。

鉄道無人駅が町の入口となっているひなびたのどかな
風情の町で、近くには「ザメンホフ博士」の胸像が、よく
見ないと気づかない位置にひっそりと佇んでいました。

土産物店が一切ない、わずかに絵葉書を文具店で見
つけただけのメインストリートは 300m あったかな
というくらいの、でも美しい町でした。ストリートに沿っ
て旧町舎に付設された turisma informejo がありエ
スペラントのできる職員がいて、エスペラントのパンフ
レットも置いています。また、韓国女性エスペランティスト
が開いている Esperanto-Café([www.esperanto-
cafe.de](http://www.esperanto-cafe.de)) もありました。彼女は UK で知り合ったドイ
ツ人エスペランティストと 17 年前に結婚し、今はこの
町に住んでいるということでした。

Interkultura Centro Herzberg (ICH) ([www.esperanto-
zentrum.de](http://www.esperanto-zentrum.de)) というセンターがあり時折
催しが行われているようですが、催しに関係なくだ
れでも訪問できます。私もその責任者の方に内部を
見せて頂き、説明をうけました。

来訪者ノートはすでに 3 冊目だと聞いた気がしま
す。もちろん私も記名し、感想をひとこと書き添えま
した。ただ専用宿泊所はないので、ホテルに泊まるこ
とになります。センターに程近く、Jues-See という湖
がありその周囲は住人にとって格好の散歩道となっ
ていて私も 2 度訪ねました。

行く前はエスペランティストがウヨウヨいるような
気がしたんですが、お連れが道で 2 人に声かけした程
度で、まだまだ浸透してないようです。移民の数が多
そうなのも驚きでした。

私は今回親密な友人にぜひ訪問してと請われたの
で頑張って一人旅したのですが、フランクフルトからで
も特急列車とローカル列車を乗り継いで 4 時間弱か
かりました。気軽にお勧めはできませんが、催しに参
加するのであれば世界から仲間が集まってくるような
ので、楽しい思い出になるでしょう。

ラムステットと宮沢賢治のこと

峰 芳隆 (兵庫県)

6 月号の的場朋子さんの「最近心に強く響いたで
きごと」に関連して 2、3。

ラムステットと宮沢賢治については、野島安太郎
『宮沢賢治とエスペラント』(リバーロイ双書) が参
考になります。同書の、私が執筆した「あとがきに
かえて」の『宮沢賢治とエスペラント』研究の課
題」でもふたりのことに触れてあります。ラムス
テットの日本のエスペランティストとの交流につい
ては、『フィンランドを知るための 4 4 章』(明石書店、
2008) の第 3 6 章「ラムステット公使とエスペラ
ント仲間 - エスペラント仲間たちが支えた日フィン
親善」をお読みください。初芝武美著『日本エ
スペラント運動史』も参考になると思います。

宮沢賢治展にエスペラント訳書

峰 芳隆 (兵庫県)

この春、姫路文学館で開催された「特別展 宮沢
賢治 詩と絵の宇宙」に、"Nokto de la Galaksia
Fervojo" と "Gooŝa la Ĉelisto" が、英語訳などと並
んで展示されていた。

この 2 冊は、開催を直前に知った私が取り寄せて
寄贈したものである。学芸員からは展示できるかど
うかわからないということであったので、期待して
いなかった。したがって、予定になかったものを追
加したはずであるが、実際には目立つ場所に置かれ
ていた。また、展示の説明にも、賢治がエスペラ
ントで作品を書いたこと、エスペラント訳は、他の言
語版とは異なって日本人が翻訳したものであること
などが記されていた。

KLEG 事務局だより

★当直者の担当曜日が一部変更に
なりました。

月曜：大西真一、火曜：中道民広、
水曜：大畑賢代子、木曜：田熊健二、金曜：東藤薫久、
奇数月の土曜：中道民広、偶数月の土曜：田熊健二。

KLEG 後援会にご協力

ウィンドウズ XP のサポート停止によるパソコンの買い換
えや、外国人エスペランティストの招待など日常活動の維持・
活性化のため、関西エスペラント連盟 (KLEG) は、活動資
金を必要としています。電気代など必需品の物価が上昇する
中、心苦しいのですが、「関西エスペラント連盟後援会」(振
替口座 00940-1-26233) にご寄付をお願いします。

なお、今月号に挟み込んでいる振替用紙は、寄付専用です。
会費・購読料や書籍代金の送金には使わないようにお願い
します。

第 14 回中国・四国エスペラント大会

2013 年 11 月 9 日（土）、10 日（日）、ひろしまエスペラントセンター東雲塾（広島市南区東雲 3-7-12 ピアザ昭和 205 号室）。主催：広島エスペラント会、共催：中国・四国エスペラント連盟。

9 日（土）13 時から大会前遠足で紅葉の宮島、平和公園へ。15 時から東雲塾にて大会受付。18 時半から大会バンケード（居酒屋「和さび」）。

10 日（日）9 時 開会式。

10 時から一般公開：まったく初めての人たちのための「エスペラント 2 時間講習会」（講師：藤巻謙一）と分科会「エスペラント世界大会・日本大会の報告」。昼食後 1 時～分科会「やさしい発音から 入門講座」、「遊びながら学ぶ エスペラント」、

14 時～16 時 一般公開番組「世界の子どもたちとハイ・タッチ」（スカイプで交流）

15 時 15 分～30 分 閉会式、大会旗引き継ぎ

大会参加費：3000 円（不在参加費 2000 円）

バンケード費：5000 円（飲み放題込み）

居酒屋「和さび」、コンフォートホテル隣り

宿泊費：4200 円（2 人 1 室、朝食付き）平和公園近く、コンフォートホテル広島（広島市中区小町 3-17、電話 082-541-5555）

申し込み：ひろしまエスペラントセンター

メール：osioka@mua.biglobe.ne.jp

〒734-0041 広島市南区黄金山町 7-15

エスペラント漬け合宿

八ヶ岳エスペラント館恒例の 2 泊 3 日間の Nur-Esperanta Kunvivado が、8 月 24 日（土）～26 日（月）開催される。参加費 1 万円（2 泊 5 食つき）。定員 12 人。日本エスペラント協会主催。申し込みは、岩谷満さん（amiko465@yahoo.co.jp）へ。

第 26 回みどりの学校

第 26 回みどりの学校は信州高遠青少年の家（長野県高遠市）で 5 月 2 日（木）から 6 日（月祝）まで（最大 4 泊 5 日）行われた。今年は天候に恵まれた。

外国からは、韓国の女性 Min Ohk-kyeong（ミン・オッキョム 閔玉卿）さんが参加。実参加は 25 人。不在参加、日帰りなど総参加数は 29 人。

2013.7

毎日の早朝のバードウォッチング、午前の入笠山、鹿嶺高原登山などの屋外活動、午後のエスペラント会話などの各種学習講座、ユニークなのは「UK のためのアイランド語会話」、二カ国語会話、韓国紹介、隠し芸大会などの夕べのつどい。

入浴後は深夜におよぶ Gaja kunsido と内容も充実していた。リバイバルの参加者も増え、今年初めて参加した人も 5 人、最後のバーベキューを終え、来年の再開を誓いあい終了した。

[←みどりの学校 実行委員会 タナカヨシカツ]

第 62 回関東エスペラント大会

5 月 18 日（土）～19 日（日）、群馬県富岡市妙義グリーンホテルで、第 62 回関東エスペラント大会が開かれた。不在参加も含めると参加者は 104 人だが、実参加者が 26 人と、こじんまりとした大会だった。群馬は観光県としては人気がなく、また世界遺産に立候補中の富岡製糸場も、思ったほどの吸引力がなかったようだ。

18 日に、中国山東省棗庄大学でエスペラント博物館の設立に奔走している孫明孝さんが、墨子の平和思想をテーマに講演。墨子は、孔子と同時代の思想家だが、孔子が権力者に親しかつたのとは逆に、墨子は庶民に基盤を置いたために、歴史上から消えてしまい、再び脚光を浴びたのは千数百年後のこと。しかし、その平和の思想は、ザメンホフの思想と似ていて、エスペランチストも彼の思想を重視すべきだ、というのが孫さんの考え。また棗庄大学で建設中のエスペラント博物館は大学挙げての大事業で博物館の建物も大きく我々の想像を超えていた。夕方は大宴会。手品、太極拳、オカリナ、津軽三味線などが披露され、雰囲気大きく盛り上げた。

19 日は弁論大会が行われ、3 人が出場。福島県の矢崎陽子さんが「フクシマ」をテーマに語り一位に。分科会は「コーラス」（牧野三男指導）、「日本国憲法」（世話人熊木秀夫）、「大震災」（堀泰雄報告）、「孫さんと語る」が行われ、それぞれ充実した内容だった。午後には、岩谷満夫妻のマンドリンコンサート、その後牧野さんの指導で「小学生版 La Espero」、La Tagiĝoなどを歌い閉会した。Postkongreso は、富岡製糸場を見学した。

[←堀泰雄]

ロンドの活動

吹田エスペラント会は4月24日(水)午後7時より例会会場の財団法人千里老人文化センター好日荘で総会を開催。出席者は7名。委任状4名。2012年度の決算・活動報告、2013年度の予算及び活動(市民文化祭の出し物、例会の持ち方ースカイプ使用等)について話し合いが行われた。役員は留任。

堺エスペラント会は春の入門講座(全8回、3月7日(火)～4月25日(火))終了。受講生1名は堺の会員に。6月16日(日)には外例会で堺市にある鳳大社を見学する。菖蒲など植物も鑑賞しながら、エスペラントで語る。

奈良エスペラント会では、5月11日(土)に「一日無料エスペラント体験会」を行った。参加者1名。会のHPを見て知ったとのこと。この春に茨城県から奈良に来た学生で、インターネットや独習書でエスペラントを勉強していて、ここで他人の口から発せられるエスペラントを初めて聞いたという。エスペラント界には若い人も居る。しかし「インターネットで勉強していて見えない」とはよく言われるが、初めて体験した。こんなもの誰が見るのかと思いつつも会のホームページを出しているが、効果があったので勇気づけられている。[←木元靖浩]

高知エスペラント会は5月18日(土)1時～3時、平和資料館 草の家でエスペラント中級学習会を開いた。テキスト学習を見送り、小規模の発電や農業などについて話した。[←江崎瑞枝]

池田エスペラント会は5月18日(土)池田駅前南会館で句会を開き、夏の季語でエスペラントの俳句を詠み、La Movado に投稿した。また、関西エスペラント大会で上演する狂言「盆山」の練習をした。

宇治城陽エスペラント会と京都エスペラント会の例会に、ハンガリーからの旅行者 Márkus Gábor さんが出席した。エスペラント普及会90周年記念行事に出席するため日本に来たもの。5月27日(月)は京都のエスペラント会館で行われている「エスペラントおしゃべり会」に、28日(火)は清水博子・相川節子が案内しての宇治観光のあと、南宇治コミュニティーセンターでの宇治城陽エスペラント会の例会に参加。29日(水)には再びエス

ペラント会館で、京都エスペラント会の昼・夜両方の例会に。30年前、日本へ向かうシベリア鉄道の中でエスペラント学習を始めたこと、その後南山大学(名古屋)で留学生として学んだこと、ハンガリーの社会の変化など、わかりやすいエスペラントで話した。

白井裕之さん akademiano に

4月に改選された Akademio de Esperanto の会員に、白井裕之さんが選出された。同時に選ばれた Tsvi Sadan さんは、イスラエル国籍の佐々木嗣也さんのユダヤ名。このほかの日本人会員は、阪直さんとヤマサキセイコーさん。

La 45a Friska Lernejo

関西エスペラント連盟(KLEG)の第45回エスペラント林間学校は、昨年と同じ、善き牧者愛徳の聖母修道会修道院(大阪府豊中市春日町3丁目8-15)で、9月14日(土)12時～16日(月祝)13時開催。

クラスは以下の4つが開講予定。

- 1) 初級輪読(講師は島谷剛、教材はウェルズの"La tempo-maŝino"。初心者向けに授業を進める)
- 2) 初級会話(外国人講師を交渉中)
- 3) 中級会話(講師は韓国の十代の Tisto と Leo)
- 4) エスペラント文和訳(講師は昨年と同じく、タニヒロユキ。エスペラント小説を日本語に翻訳)

分科会(15日の16時から18時半)は「聖書拾い読み」(相川節子)、「運動論」(木元靖浩)、「簡単な韓国語会話」を予定。演芸会 Gaja Vespero も。

参加費は全日程(2泊5食)で20,000円。KLEG 会員割引2000円。部分参加割引、地域割引、障害者・青年・中高生等の割引あり。

申込先: 田中一喜(電話06-6862-8756, メール esperanto@u1.gate01.com)。8月末締め切り。

西川悟(にしかわ・さとる)さん: 5月16日死去。1970年生。1988年に広島大学の Rondo Harmonia のロンドでエスペラントを始めた。最近第60回関西エスペラント大会記念の木星歌詞コンクールで選ばれた島谷剛の "Jupitero, Steljuvel!" や東日本大震災の「鎮魂の歌」のエスペラント訳などをボーカロイド初音ミクに歌わせて Youtube に投稿するインターネット上の活動の中心人物のひとりだった。[←林周行・森川和徳]

スキー合宿の思い出

國井兵太郎（山形県）

辰巳さんが山形エスペラント会主催のスキー合宿に初めて参加されたのは、1981年の第6回の頃と思います。お陰様で今年2013年には38回を迎えましたが、昨年まで30回以上、クラス会と重なったとき1回だけ不参加でしたがほぼ毎年参加していただきました。遠く大阪から毎年参加する方がおられるというだけで、この合宿の宣伝として十分すぎるくらいでしたが、辰巳さんは単なる参加者ではなく、合宿の主催者として運営のかなめ部分を担っていただきました。1995年に私が産婦人科医院を一人で開業したときは合宿の継続は無理かと思いましたが、辰巳さんをはじめとする常連の方々の後押しのおかげで今日まで続いております。

辰巳さんは合宿に参加する以前に蔵王には何回か来ておられるようで、数多いゲレンデの地理にも詳しく、多くのグループに分かれて滑るような場合、ゲレンデの案内は彼に任せておけば安心でした。スキーの技術についても安定していて、どんな困難な斜面でも一緒に滑っていて楽しい方でした。

この合宿は夕食後の懇親会が楽しみの一つです。地酒やワインを飲みながら、参加者の得意な分野の講演を聴いたり、ゲームで2グループに分かれて争ったり、歌を歌ったりという内容ですが、辰巳さんは博学で、いろいろな分野の最近の話題を提供してくれました。エスペラント語のゲームについてもたくさんの遊び方を教えていただきました。歌も辰巳さんの得意な分野で、戦前の文部省唱歌のスキーの歌のエス訳を楽譜とともに持参して下さり、彼の指導でみんなで歌ったのが楽しい思い出です。

最近では標高1400mの地藏岳まで登ると呼吸が苦しいとのことで、中央ゲレンデで滑ることが多かったようです。いつも年賀状に今年も参加しますと書かれてくるのですが昨年は何とも書いていないので電話をしました。今年は体調がよくなくて・・・という返事でしたので、不参加と思い、参加者名簿に載せないで居たところ、突然合宿に現れましたので、一同びっくりしました。

今後もこの合宿をにぎやかに続けることが辰巳さんへの供養にもなるものと思っています。

辰巳博さんを偲ぶ



28年続いた数学パズル

田熊健二（奈良県）

辰巳博さんが4月1日に86歳で急逝されました。4日前の3月28日（木）の例会にお見えにならなかったため、電話したところ、「今日は気分が優れないから休みます」といわれたのが、辰巳さんと交わした最後のことばとなってしまいました。

大阪エスペラント会（OES）に入会したのは1978年ごろで、同年4月にJEIにも入会し、早々に6月開催の第26回関西大会に参加しています。翌年4月に来日したドイツのエスペランティストを当時館長であった大阪市立電気科学館に案内し、また同年の第66回日本大会（神戸）では大会大学で講演するなど、OES入会の際から華々しく活躍していました。

辰巳さんはOESの機関誌La Voĉoの編集に携わっていて、1980年の第67回日本大会で行われた機関誌コンクールでLa Voĉoが最優秀賞に選ばれる快挙を成し遂げ、のちにLa Movado誌上に「よい機関誌をつくるために」を連載（11回、各2p）しています。

著作としては数学パズルのGimnastiko por cerbo（1986）があります。辰巳さんの数学パズルは、La Movado誌1985年11月号の初登場から隔月でこの2013年5月号まで、実に28年間に165回続いてきました。昨年の第60回関西大会の記念品に「数学パズル」の第2弾を考えたのですが、諸般の事情で断念したことが悔まれます。

辰巳さんはマルチタレントで、林間学校や講習会の講師もたびたびとめ、関西大会やザメンホフ祭でOESがよくドタバタ劇を演じていたころ、女形をやったりして名演技を見せていました。歌も好きでウィーンに「第九」を歌いに行ったこともあります。歌唱指導もよくされていましたが、最近では声が出にくくなったとさみしそうでした。スキーも得意で蔵王のスキー合宿の常連でした。

関西大会組織委員として働いた疲れに、昨年の猛暑のためか、夏に体調を崩され、2、3ヶ月例会を欠席されていました。涼しくなって出てこられたのでホッとしていたのですが、突然のお別れになって呆然としています。辰巳さんがOESやエスペラント界のために尽力して下さったことに心より感謝して、今は安らかに眠りくださいと祈るばかりです。

ENIGMO

ŜIMATANI Takeŝi

Akio kaj Haruo estas komizoj de iu vendejo. Por meti vendajŝojn sur vend-bretojn Akio bezonas 40 minutojn kaj Haruo 60 minutojn. Foje Akio kaj Haruo kunlaboris. Kiom da minutoj estis bezonata por ke la bretaro estu preta?

Sendu vian solvon ĝis la 20-a de julio al la redakcio. (Se vi utiligas retpoŝton, sendu al: lamovado@gmail.com)

La solvo al la maja enigmo

7 ruĝaj globoj devas esti plie aldonitaj.

La unua nombro de ruĝaj globoj estu $4x$ kaj tiu de blankaj estu $7x$.

Kiam oni aldonas ok ruĝajn,

$$(4x + 8) : 7x = 2 : 3.$$

$$\text{Do } 3 \times (4x + 8) = 2 \times 7x. \text{ Tial } x = 12.$$

Kun y ruĝaj plie aldonitaj

$$(4x + 8 + y) : 7x = 3 : 4.$$

$$\text{Do } 4 \times (4x + 8 + y) = 3 \times 7x.$$

$$\text{Tial } y = 7.$$

La ĝustan solvon donis 4 legantoj:

中村文雄、豊原宏俊、Kacu、荻原克己

楽しい作文教室 9月号課題 (7月20日締切)

①彼は10年前に故郷の町を去った。

②その町は高い山のふもとにある。

③川が町を流れて南に流れている。

④私は一度その町を訪ねたことがある。

(ヒント) 故郷の町 hejmurbo, 山のふもと piedo de monto, 訪ねる viziti. for, fojo も調べましょう。日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。

送付先:

[郵送] 〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811 塚本 猛

[電子メール] c_tak@esperanto.ne.jp

(件名に「作文」の文字を入れてください)

添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

Mikspoto (当欄は敬称略)

☆ 『日本経済新聞』5月18日の「フォーカス」欄に梯郁太郎のインタビュー。電子楽器の共通規格MIDIについて、「自社で開発した規格を無料で公開したのは『音楽界のエスペラント語をつくりたかったから。』と。「若い頃『平和な社会をつくる』理念に共感して学んだエスペラント語は結局、普及しなかった」と書かれている。 [←田平正子]

☆ 『太平洋戦争ミステリー 最前線に咲いた93の奇談』(笠倉出版社)に、「ジェット気流を最初に研究したのは日本の気象学者大石和三郎」とあり、自著をエスペラントに翻訳して公表したと書かれている。 [←田平正子]

☆ 少女漫画『僕らは楽園で結ばれる』(白泉社、原作:南々井梢、作画:空あすか)第2巻が出版された。島根の学生と東京の少女がエスペラント名のブログをきっかけとして知り合う物語。第1巻同様、帯には「世界共通語・エスペラントが結ぶ恋」とあり、作品中にもエスペラントの会話が登場する。 [←相川節子]

☆ ひつじ書房の新刊・近刊案内の『未発 ジュニア版』2013年春版に『日本エスペラント運動人名事典』の近刊予告。 [←後藤齊]

☆ 『熊本大学案内2014』に、文学科の先輩のメッセージとして、「言語学特殊講義という授業では、普段の生活では接することのないクピシン語やエスペラント語を学ぶことができ……」と書かれている。

[←後藤齊]

☆ 少し旧聞になるが、『熊本大学社会文化研究』7号(2009年)に、劉菲(リョウ・フェイ)「魯迅と『エロシェンコ童話集』」の文中に、「エロシェンコが作品を創作する際に主に使用していた言語はエスペラントと日本語であり」などとエスペラントへの言及がある。

[←峰芳隆]

楽しい作文教室 (25) 成績

16名の方から応募がありました。()内は留意事項です。

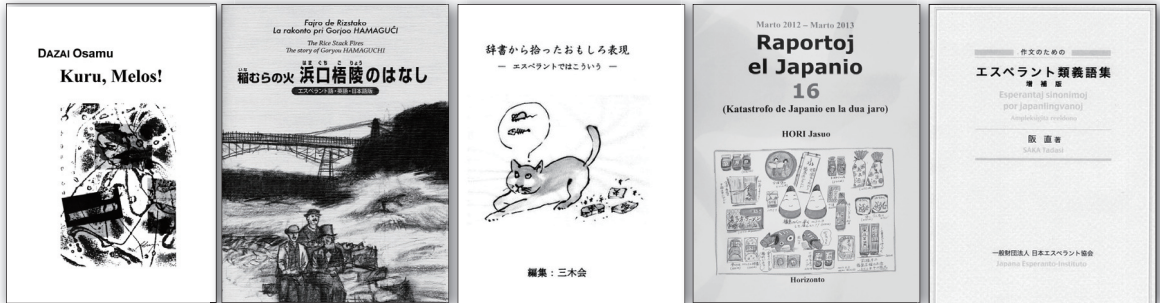
うん、良いね: 西 (folialoj), ikona, M.H., Eiko, Ivajo, Yo

良いね: Drako, ヒー坊, 田原, Fumi, festo

もうひといき: 水渡 (felioj), alfa (dispersi),

Ĉielarko (anguro), T.Ku (falitaj), Lv-rivero (brirawon)

がんばろう: 無し



★ 新刊・新着

Kuru, Melos! 350円

小西岳訳、太宰治「走れメロス」。真の友情とは一
国語教科書にも収録されるおなじみの短編小説。
原作テキスト付き。表紙はカラー刷り。挿絵は西田
周司(新制作協会会員)。A5判、36p。

稲むらの火 浜口梧陵のはなし 800円

"Fajro de Rizstako, la rakonto pri Gorjoo
Hamaguĉi" 松下千恵作、藤井博之挿絵、江川治
邦訳。わかやま絵本の会、英語グループとの連携
で出版。B5版、44p。

辞書から拾ったおもしろ表現 400円

— エスペラントではこういう — 「おもしろ」表現を
宮本正男編『日本語エスペラント辞典』から採録。
「後の祭り」「言わぬが花」「猫に小判」「縁起をか
つぐ」など。A5判、45p。

Raportoj el Japanio 16 1300円

堀泰雄による日本の〈いま〉を世界へ伝えるレポ
ート集最新刊。副題は "Katastrofo de Japanio en la
dua jaro" 2012年3月以降の被災地を活写。写真、
図版多数。A5判、286p。

★ 在庫から

作文のためのエスペラント類義語集(増補版) 800円

阪直著。豊富な用例で表現の幅が広がる。

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。
現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

El japana literaturo 1260円

戦前の日本文学選集。「刺青」「檸檬」など。

Postmilita Japana Antologio 1500円

戦後の日本文学選集。「火垂るの墓」など。

Notoj pri la delto 400円

広島で被爆した岡田春の手記。小西岳訳。

Noveloj de Akutagawa Ryūnosuke 1000円

小西岳訳、芥川集。「蜘蛛の糸」「蜜柑」など。

Ruĝa kokono 800円

林健訳、安部公房短編集。「赤い繭」など。

日本文学に現れたエスペラント 800円

宮本正男著。文学作品にみる「エスペラント」。

Vage tra la dimensioj 700円

小西岳のSF小説集。

エスペラント文法の散歩道〔改訂新版〕 1000円

小西岳による文法解説。estas は≠ではないなど。

Raportoj el Japanio 15 1500円

震災、原発事故に揺れた一年を伝えるレポート集。
1~14も在庫あり(1200~2200円)。

世界の旅人堀さんのエスペラント気ままエッセー2

1300円。堀泰雄の日本語文集。被災地訪問記など。

編集ノート



☆大川純平さん執筆のKajero Libervola は今回で終了。
ありがとうございました。

☆編集ノートのロゴを変えました。前の絵はインク壺でした
が、もはや、知らない人さえないので。(島谷剛)

発行所：ラ・モバード社 編集：小西岳 発行人：北 さとり 定価280円 送料60円 1年3800円 送料共
本 局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204
電話 (06) 6841-1928 ファクス専用 (06) 6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.jp
振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://kleg.jp
九州支局：九州エスペラント連盟内 818-0105 福岡県太宰府市都府楼南2-8-7 武藤たつこ方 電話 (092) 923-2877
中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 734-0041 広島市南区黄金山町7-15 忍岡守隆方 電話 (082) 286-2745
印刷人：村 上 治 道 621-0815 京都府亀岡市古世町北古世82-3 株式会社 天声社